

# 企業景況調査報告書

(令和3年1～3月期)

## < 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	.....	1
質問2 直面している経営上の問題点	.....	2
質問3 働き方改革への取り組みについて	.....	3
質問4 意見等自由記載欄	.....	4
DI集計結果・分布	.....	5
調査票様式	.....	6

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email [cci3103@kurayoshi-cci.or.jp](mailto:cci3103@kurayoshi-cci.or.jp)

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書（2021年1～3月）

## 調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100社

（建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社）

## 調査方法

各事業所を職員が訪問し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

## 調査時期

令和3年4月上旬

## 回収状況

92社（回収率92%） ※前回（10～12月）88社

（建設業20社、製造業17社、卸売業9社、小売業21社、サービス業21社、その他4社）

## 全業種における今期の状況は引き続き上昇、来期も上昇する見通し

### <今期の状況>（5ページ表参照）

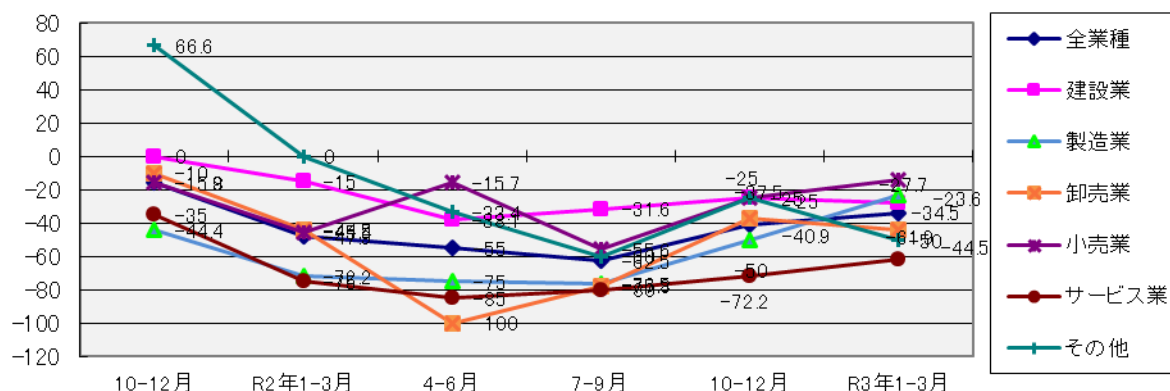
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の▲40.9から上昇し、▲34.5となった。業種別に見ると、それぞれ製造業は▲23.6（前期▲50.0）、小売業は▲14.3（前期▲25.0）、サービス業は▲61.9（前期▲72.2）、と3業種で上昇している。一方、建設業は▲27.7（前期▲25.0）、卸売業は▲44.5（前期▲37.5）、その他の業種は▲50.0（前期▲25.0）と3業種で下降している状況である。

### <来期の見通し>（5ページ表参照）

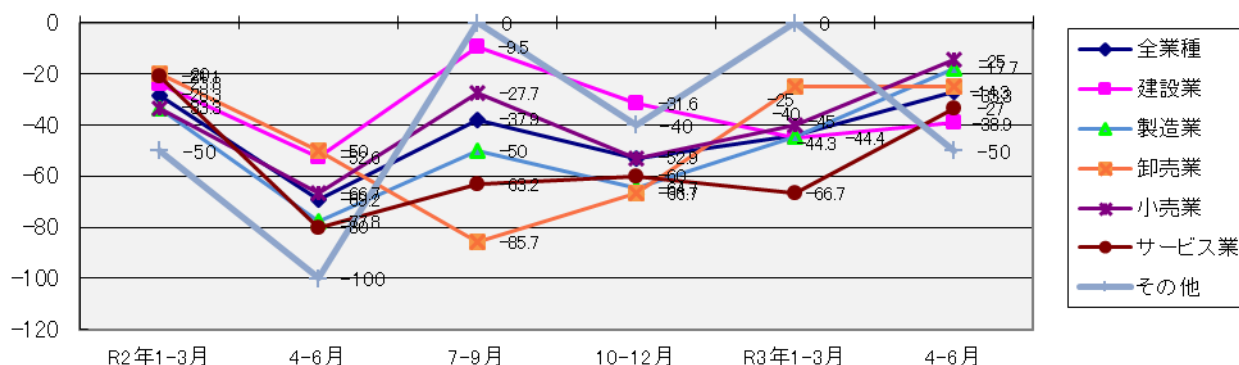
来期の見通し（2021年4～6月）では、全業種のDI値は前期の▲44.3から上昇し、▲27.0となった。業種別に見ると建設業は▲38.9（前期▲45.0）、製造業は▲17.7（前期▲44.4）、小売業は▲14.3（前期▲40.0）、サービス業は▲33.3（前期▲66.7）と4業種で上昇する見通しとなった。一方、その他の業種は▲50.0（前期0.0）と下降する見通し、卸売業は▲25.0（前期▲25.0）で不変となった。今期・来期ともに引き続き上昇傾向にあり、徐々に回復の様子が窺える結果となった。しかし、経営上における課題として全業種で「売上・受注減少」、「消費・需要の停滞」が引き続き上位に挙げられており、まだまだコロナによる影響は続くことが懸念される。

### <業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

#### (1) 今期の状況 <業種別>



#### (2) 来期の見通し<業種別>



## 質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下  
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰  
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足  
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出  
 17 その他:具体的に( )

〔上位項目〕

※（ ）内は件数

分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	売上・受注減少 (58)	消費・需要の停滞 (36)	人手不足 (24)
	前 期	売上・受注減少 (52)	消費・需要の停滞 (49)	人手不足 (24)
建設業	当 期	売上・受注減少 (12)	原材料・仕入価格上昇 (9)	消費・需要の停滞 (8) 人手不足 (8)
	前 期	売上・受注減少 (13)	消費・需要の停滞 (8) 人手不足 (8)	利益率低下 (7)
製造業	当 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (7)	店舗・生産設備不足・老朽化 (6)
	前 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (10)	店舗・生産設備不足・老朽化 (5)
卸売業	当 期	売上・受注減少 (6)	競争激化 (3) 消費・需要の停滞 (3) 原材料・仕入価格上昇 (3) 経費の増加 (3)	売上・受注単価低下 (1) 原材料・在庫過剰 (1) 店舗・生産設備不足・老朽化 (1) 人手不足 (1) 利益率低下 (1) 資金繰り難 (1) その他 (1)
	前 期	売上・受注減少 (5)	消費・需要の停滞 (4) 経費の増加 (4)	競争激化 (3) 原材料・仕入価格上昇 (3)
小売業	当 期	売上・受注減少 (11)	消費・需要の停滞 (9)	競争激化 (5) 人手不足 (5)
	前 期	消費・需要の停滞 (15)	売上・受注減少 (8)	人手不足 (6)
サービス業	当 期	売上・受注減少 (14)	消費・需要の停滞 (7)	競争激化 (6) 利益率低下 (6)
	前 期	売上・受注減少 (12)	消費・需要の停滞 (9)	利益率低下 (6)
その他	当 期	売上・受注減少 (3)	消費・需要の停滞 (2) 利益率低下 (2)	売上・受注単価低下 (1) 経費の増加 (1) 人手不足 (1) 代金回収難 (1) その他 (1)
	前 期	消費・需要の停滞 (3)	売上・受注減少 (2) 人手不足 (2)	店舗・生産設備不足・老朽化 (1) 経費の増加 (1) 利益率低下 (1) 代金回収難 (1) 新分野進出 (1)

### 17 その他

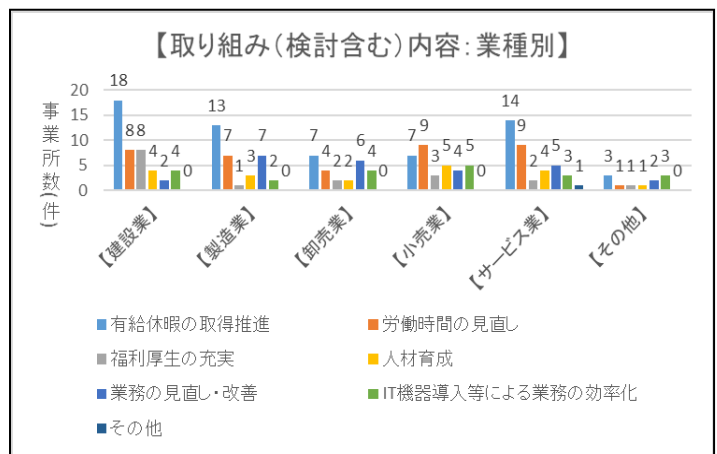
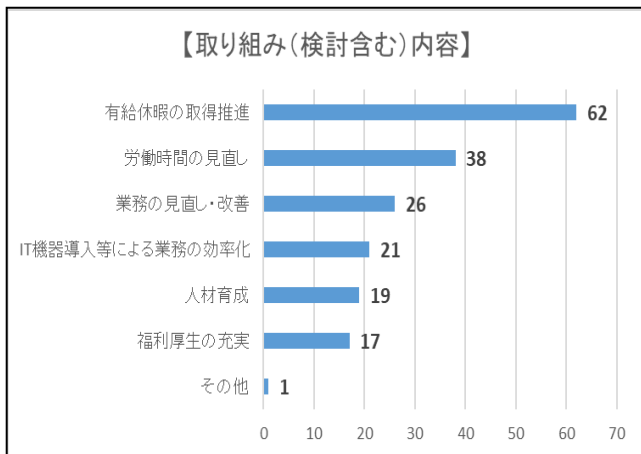
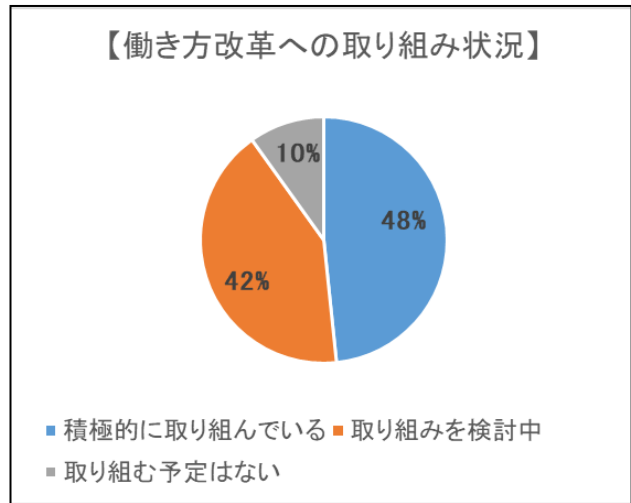
- ・コロナの影響
- ・熟練技術者の不足
- ・人材育成
- ・人口減少による顧客減

### 質問3 働き方改革への取り組みについて

#### 全体の約半数の事業所が働き方改革を積極的に実施

2019年4月から「働き方改革関連法」が順次施行され、「時間外労働の上限規制」や「年次有給休暇の確実な取得」などが求められてきた。2021年4月からは中小企業においても同一労働同一賃金の適用が開始される。それに関連して、働き方改革の取り組み状況についての調査を行った。その結果、「積極的に取り組んでいる」が49%、「取り組みを検討中」が41%となり、全体の約9割の事業所が働き方改革に取り組む姿勢を示す結果となった。

また、「積極的に取り組んでいる」「取り組みを検討中」と回答した事業所には、実施している（又は実施を検討している）取り組みについても併せて調査を行った。その結果、「有給休暇の取得推進」が最も多く、次いで「労働時間の見直し」、「業務の見直し・改善」が続く結果となった。業種別の結果については以下に示す通りで、建設業では「福利厚生の実施」も上位に挙げられたほか、小売業では「IT機器導入等による業務の効率化」も多く見られた。



実際に取り組みを実施している事業所からは、「残業時間を制限することで業務効率が上がった」、「有給休暇が取得しやすくなったことで、子どもの学校行事などに積極的に参加できるようになっている」などの意見があり、好影響をもたらしている様子が窺える。一方で、「まだ効果は実感できていない」、「コロナの影響で業務が減っているため、効果を出し切れているかはわからない」という意見も少数挙げられたほか、「業務が増え、時間が削られ悪循環になった」といった意見も一部で見られた。

#### 質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

##### 【建設業】

- ・市発注工事がほとんど無い状況。なんとかならないか。
- ・公共工事（建築）が全くと言っていいほどありません。倉吉市の工事は2年間発注がありませんので発注を願いたいと思います。
- ・いつまでも続くコロナで、いろいろな面で厳しい世の中になってくると思います。資金面で行政の力が欲しいです。
- ・コロナ禍の影響で公共事業、特に建築物については予算が取れないとのことで仕事がなく、不況感が漂っている。ソフトな面に予算が回ってしまっているようである。公共事業のハードな面にも目を向け、バランスの取れた予算にして少しでも好況になるようにしないと、いつまでもコロナ禍から抜け出せないと考えます。コロナ禍による店舗施設等の支援による改修などハードなものでも良いのでは。
- ・民間建築が減少しているので公共工事を増やしていただきたい。
- ・受注減少。

##### 【製造業】

- ・ベーシックインカムを推進。
- ・補助金等自分で調べると言われればそれまでですが、FAX等でもいいので教えてほしいです。他のところは教えてもらっていると聞きました。

##### 【卸売業】

- ・市場の極端な冷え込みがある。政府等のコロナ支援には業種によって偏りがある。
- ・新年度により色々と値上げになるために何かと苦しくなります。

##### 【小売業】

- ・コロナにより状況が一変する。早急なワクチン接種などを行政に期待する。
- ・コロナ禍に振り回されている。行政支援がなくなった後が心配。
- ・労働環境の整備、働き方改革は良い事だと思うが、例えば産休、育休中の労働力の確保、短時間勤務への対応をすればするほど一部の社員に負担が集中してしまう。少人数の事業所は人員確保に経費も出にくく、又短期、短時間勤務の採用は難しい。

##### 【サービス業】

- ・いかに人口減少を止めるか。
- ・コロナウイルス感染対策により、地域全体の経済が縮小するのではないかと心配しています。マスコミ等の伝えることと、保健所の言っていることに少し違いがあるように思われます。私は保健所の方が正しいと思いますが、世間が大げさに騒ぎすぎると従わざるを得なくなります。なので、大げさではない、正しい情報・対策を推奨していただきたい。そして、経済に与えるダメージを最小限に抑えさせていただきたい。
- ・コロナにより宿泊、宴会ともに減少。
- ・コロナ対策を十分に考えてほしい。鳥取県、市役所、国に私たちの声も届けてほしい。
- ・特に夜の売上が下がって大変です。飲食店の支援は店舗数に対して行ってほしい。個人と複数店舗では不足です。

D I 集 計( 前年同期比=2021年1~3月期、来期の見通し=2021年4~6月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-31.6	-38.2	-9.7	-10.1	-33.0	-37.1
製造業	-17.7	-5.9	-5.9	0.0	-35.3	-11.8
非製造業	-34.6	-45.8	-10.7	-12.5	-32.4	-43.1

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-11.9	-11.1	-2.2	-3.3	-14.4	4.6
製造業	0.0	5.9	5.9	0.0	-17.6	0.0
非製造業	-14.6	-15.1	-4.1	-4.1	-13.7	5.7

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-34.5	-27.0
製造業	-23.6	-17.7
非製造業	-37.0	-29.2

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-31.6	-38.2	-9.7	-10.1	-33.0	-37.1
建設業	-30.0	-63.1	-20.0	-21.0	-25.0	-57.9
製造業	-17.7	-5.9	-5.9	0.0	-35.3	-11.8
卸売業	-55.6	-25.0	33.3	37.5	-55.6	-37.5
小売業	-14.3	-40.0	0.0	-10.0	-5.0	-20.0
サービス業	-52.4	-38.1	-28.6	-14.2	-57.1	-47.6
その他	-25.0	-75.0	-25.0	-75.0	-25.0	-75.0
非製造業	-34.6	-45.8	-10.7	-12.5	-32.4	-43.1

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-11.9	-11.1	-2.2	-3.3	-14.4	4.6
建設業	-5.0	-10.6	0.0	0.0	-20.0	-5.3
製造業	0.0	5.9	5.9	0.0	-17.6	0.0
卸売業	-33.3	-37.5	0.0	0.0	-22.2	12.5
小売業	-4.8	4.7	-14.3	-14.3	0.0	0.0
サービス業	-28.6	-33.3	0.0	0.0	-20.0	5.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
非製造業	-14.6	-15.1	-4.1	-4.1	-13.7	5.7

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-34.5	-27.0
建設業	-27.7	-38.9
製造業	-23.6	-17.7
卸売業	-44.5	-25.0
小売業	-14.3	-14.3
サービス業	-61.9	-33.3
その他	-50.0	-50.0
非製造業	-37.0	-29.2

※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

事業所名: \_\_\_\_\_ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊫

### 倉吉商工会議所企業景況調査票(2020年10~12月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(2020年10~12月)の状況と、今期と比較した来期(2021年1~3月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数	人(うち正規雇用者 人)		
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化          | 10 経費の増加    |
| 02 消費・需要の停滞      | 11 人手不足     |
| 03 売上・受注減少       | 12 人手過剰     |
| 04 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下    |
| 05 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難    |
| 06 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難    |
| 07 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出    |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰     | ( )         |

回答欄

1位 \_\_\_\_\_

2位 \_\_\_\_\_

3位 \_\_\_\_\_

【質問3】2019年4月から「働き方改革関連法」が順次施行され、「時間外労働の上限規制」や「年次有給休暇の確実な取得」などが求められてきました。2021年4からは中小企業においても同一労働同一賃金の適用が開始されます。それに関連して以下の質問にご回答ください。

1. 働き方改革全般に関する取り組み状況について

① ( ) 積極的に取り組んでいる / ② ( ) 取り組みを検討中 / ③ ( ) 取り組む予定はない

2. 【1で①又は②と回答した方】実施している(又は実施を検討している)取り組みについて(※複数回答可)

① ( ) 有給休暇の取得推進 / ② ( ) 労働時間の見直し / ③ ( ) 福利厚生 of 充実  
④ ( ) 人材育成 / ⑤ ( ) 業務の見直し・改善 / ⑥ ( ) IT機器導入等による業務の効率化  
⑦ ( ) その他 [ \_\_\_\_\_ ]

3. 取り組みによる効果はありましたか。また、具体的にどのような効果がありましたか。

[ \_\_\_\_\_ ]

【質問4】現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。

\_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございました。